

森の中で仲間づくり

開催日時：2023年10月14日(土) 10:00~16:30

場 所：小田原市いこいの森

参加人数：履修者6名 (法学部2名・人間科学部4名)

担当教員：磯田浩司 非常勤講師

目 的

社会教育を学ぶための第1歩となる、仲間づくりを目的とした実習です。今回は、チームビルディングを自ら体験しながら、その手法を学びます。

場 所

小田原市いこいの森

〒250-0055 小田原市久野4294-1

日 程・1日の動き

真横に刃を入れることすら難しかった！



10:00~11:00 アイスブレイク

11:00~12:00 説明を聞きながら森を散策

12:00~13:00 昼食

13:00~15:30 説明およびワーク

紙芝居形式での森の役割や林業についての説明

手のこを使ったスギとヒノキの伐採

15:30~16:00 振り返り

アイスブレイク後、佐藤さんの案内で、森の中を散策しながら、数えきれないほどの森の不思議を教えてくださいました。そしてこの日は、前日に3頭のイノシシを捕獲したということで、山の奥の解体場で、解体作業が行われており、その様子も特別に見せていただくことができました。

森に入る前には、森林の役割や、守ることの大切さを学びました。森は、人間が暮らすために多くの役割を担っています。木が育ち、森が健全に役割を果たすためには、増えすぎた木を適切な量にする間伐作業を行わなければなりません。しかし、現在は山の管理をする人や林業を生業とする人が減り、間伐作業が大変になっています。小田原市森林組合では、4,200haを越える面積を占める小田原の森林を管理しています。

いよいよ森に入り、手のこを使って、スギとヒノキを1本ずつ伐る作業を行いました。1時間ほど伐っていると、メリメリと音をたてて倒れていきました。人の生活のためにその命を失っていく木や猪に感謝を表すためには、最後まで使い切ること、食してあげること、が大切ということです。そして最後に、人々が木を使ってくれるようになるためにはどうしたら良いか、森を守る林業に興味を持ってもらうためにはどうしたら良いか、話し合いました。

1日と一緒に過ごし、木の伐採作業を仲間と力を合わせて行うことで絆を深めました。

連携・協力

○ 小田原市森林組合 佐藤健氏



横浜フィールドワーク

開催日時：2023年10月30日(月)16:00~17:00・11月18日(土)10:00~16:00

場 所：横浜市役所及び横浜市内

参加人数：履修者6名(法学部2名・人間科学部4名)

担当教員：高城芳之 非常勤講師

目 的

- ① 横浜市役所を訪問し、公共における生涯学習・社会教育に関連する仕事を知る。
- ② 民間における生涯学習・社会教育に関連する施設を視察し、実際の仕事を知る。

場 所

目的① 横浜市役所

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50-10

目的② ことぶき協働スペース

〒231-0026 横浜市中区寿町4-14 健康福祉交流センター2階

目的② ヨコハマホテルビレッジ

〒231-0025 横浜市中区松影町3丁目11-2 1階



横浜の夜景はステキですね！

日 程

- ① 2023年10月30日 16:00~17:00

横浜市役所内見学及び、横浜市の生涯学習施策についての講義。

- ② 2023年11月18日 10:00~16:00

ことぶき協働スペースにて、横浜市寿町の歴史と現状、活動内容を学ぶ。寿町をめぐり、ヨコハマホテルビレッジを見学し、民間による寿町の街づくりを学ぶ。最後に、横浜のまちを歩き、学びを深める。



14階の会議室

連携・協力

- 横浜市教育委員会 生涯学習文化財課
係長 平中文朗氏、岩田仁希氏、鈴木薫氏、
- 横浜市ことぶき協働スペース 施設長 徳永緑氏
- コトラボ合同会社 齊藤一樹氏

参加学生のコメント

【横浜市役所振り返りより】

・市役所より区役所の方がなじみがあったが、駅から直通で驚いたし、市民に役立つ情報もあって、もっと多くの人に知ってもらいたいと思った。

・市役所自体が、観光地みたいな感じになっていた。指針に人材発掘が重要と書かれていたが、抽象的だと思った。区に任せて、市はまとめていただけという感じがかった。

・市役所に役所以外のたくさんの機能があり、人が集まりやすい施設だと思った。市役所の中でもいろんなことをやっていると知ったが、役所に行かないと分からなかった。情報伝達に課題があるのではないかと思う。



神奈川県庁

10/14 森林実習コメント

○今日は、人生で初めて木の伐採をしました。私は、山や自然がとても好きなので、実習がとても楽しみだったし、実際に体験してみてもとても刺激を受けました。伐採の前に山の散策をして、様々な種類の木や植物について学ぶことができ、楽しみながら知識も得られてよかったです。いつもは講義を受けているだけだったので、ほかの学生は名前を知る程度だったけど、山での実習や川で遊んだりして交流ができたので、前よりは話すことができうれしかったです。地元は自然が多かったので、なつかしい気持ちになれました。授業を通して、ふつうはできない経験ができたので、とても良い経験になりました。1日ずっと楽しかったです。(自治行政学科1年 O.R)

○森の中を歩きながら、木の実や葉などに触れるという経験が、非日常なものであったため、非常に楽しく行うことができました。その中でも木を切るということを初めて行うことができ、印象的だった。その方向にどんな目的をもって、また、その方向に傾かせるために刃をどの方向に入れるのか、色々と考えながら切っていることを知った。林業は、人手が足りなくなりつつあるといわれている業界ではあるが、森や木を守ることで災害などから守ることができるといった、私たちが日々安心安全に暮らすうえで必要な仕事であり、この達成感ややりがい、より多くの人に広がってほしいと考えた。

(法律学科4年 T.E)

【小田原市森林組合 佐藤氏】

この度は授業の内容に小田原の山や林業を取り入れていただきありがとうございます。初めは表情がかたかった



佐藤さん(左)と磯野さん(右)

ように思いましたが、五感で森林を感じていくにつれ、表情が豊かになっていき、学んでくれているのだと感じました。今回の非日常の体験をこれからの人生の何かに役立てていただければありがたいです。

【林業従事者 磯野氏】

この度は授業に参加させていただきありがとうございました。あの楽しい雰囲気の中での授業をしていると学生の頃に戻った気分になり、とても懐かしく楽しく感じました。楽しい雰囲気を作ってくださった先生方には感謝しております。最初のアイスブレイクもめちゃくちゃ楽しかったです！

11/18 横浜まち歩きコメント



寿町は歴史あるものと新しいものが融合していました

○横浜に住んでいるが、寿町には初めて行った。中華街やみなとみらいなど、観光施設として栄えている町が近くにある中で、あのような町があることが驚きだった。実際に町を歩いた時、人が急に減った感じがあって、やはり実習でなければなかなか入りにくいところだと感じた。ことばき協働スペースは、住民が少ないからこそ、それぞれと密にコミュニケーションを取って、地域活性化を図っていることがわかった。一人一人の得意なこと、いいところを活かして町のためになるようフォローしていた。しかし、あのようなコミュニティにそもそも来ない人、来ることができない人に対する支援が難しいことなど、課題も多い施設であると感じた。ホステルビレッジは、寿町の課題をうまく利用したビジネスをしていると感じた。空き部屋を活かして宿にして売り出すことで、空き部屋の再利用と、町に人を呼び込み町のイメージを変えてもらうという効果があると思う。ビジネスと町の活発化を上手なバランスでやっていた。横浜というと、観覧車やランドマークタワーなど、みなとみらい周辺の栄えた町のイメージが強いが、そうではない場所にも目を向けるいい機会になった。横浜に住んでいる私ですら、横浜のことをよく知らないでいる。横浜のいろんな面をもっと知りたいし、知ってもらいたいと思った。(人科1年 N.W)

